

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス TOMO Kids		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 25日	～	令和8年 3月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)
			2名
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 2日	～	令和8年 3月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)
			7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師が常駐にしていることで、重症心身障がい児・医療的ケア児の子どもたちが安全・安心に通える場所。日中の活動やリハビリテーション、人との関わりを通して、子どもたちの可能性を最大限に引き出し、伸びしろを増やせるような、経験したことないような体験ができる取り組みを行っていくことを目標としている。	日々の遊びやリハビリテーションを通して、身体機能やできることの拡大など遊びを通しての支援を行い、子どもたちの可能性を最大限に広げられるように支援しています。	一人ひとりのニーズに合わせたプログラムの充実を図るため、定期的なアセスメントを行い適時プランを見直し活動の中に取り入れていく。 公共機関などを利用した野外活動や季節のイベントを取り入れながら季節感を感じたり、社会体験ができるように支援していく。
2	1歳児から高校生までの利用児が利用しており、同じ空間で過ごすことにより、お互いに刺激しあえる空間や関わりができています。	同一空間で利用児同士が関われる環境作りをこころがけてます。	利用児が不安にならないよう配慮が必要。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多職種また職員数が少ないため、仕事の分担が決まってしまう。	多職種で支援を行っているため、アプローチ方法が職種によって異なる。	一人ひとりの思いに寄り添った支援が行えるよう、支援時の課題や共通認識で統一された支援が行えるように情報発信・共有しながら支援に活かしていく。
2			
3			